

(二) 学習指導部会

1 研究の視点

○ 学習指導を進めていく中で、生徒が意欲的に学習に取り組み、自らの学業生活の改善と向上が図れるように援助してやらなければ、学力の向上は望めない。学業指導を強化し、生徒たちに現在よりも意欲的な学習態度や効果的な学習方法を身につけさせるとともに、教師自らの学習指導法の改善を図っていくことにした。

2 実践の方針

○ 研究のための研究ではなく、四つの目標の達成が生徒に役立つ研究とする。  
○ 生徒に上から押しつけるのではなく、生徒自身が自らの課題として受けとめるよう配慮する。

3 実践の概要

(ア) 「始業の合図で席に着く」、「学習用具を忘れない」、「学習課題を忘れない」、「相手の話によく耳をかたむける」の四項目を実践項目と定め、それぞれプロジェクトチームが中心になって具体的な実践項目と場を明らかにしながら実践を進めた。(資料3参照)

(イ) 「相手の話によく耳をかたむける」については、四項目の中で最も達成度の遅れていた項目なので、

資料3 実践の概要

領域 目標	教科	道徳	特別活動			
			学級活動	学級指導	クラブ活動	学校行事
着席の合図で席に着く	○ 授業前、余裕をもって着席する。				→	○ 係りの指示に従って、すみやかに行動する。
学習用具を忘れない。	○ 授業の始まる前に学習に必要なもの(教科書、ノート、筆記用具、その時に必要なもの)を準備する。 ○ 教科書を忘れたときは、事前に借り、教科担任に報告しておく。 ○ ワーク、プリント類を忘れたときは、教科担任に報告して指示を受ける。	○ 副読本や資料の必要なときには、授業の始まる前に準備しておく。	○ 帰りの学活時に翌日の学習内容や準備物についてメモする。 ○ 朝の学習時に、忘れ物がないかを学習連絡板を見て確認する。 ○ 係りは、昼食後に、翌日の学習連絡を学習連絡板に書く。	○ 副読本や資料の必要なときは、授業の始まる前に準備しておく。	○ 活動に必要なものを、時間前に準備しておく。 ○ 係りは、用具、準備物の点検を忘れない。	○ 必要なものを時間前にみんなで協力してそろえておく。→
学習用具・学習課題を忘れない。	○ 授業で使ったプリント類を指示通りに整理する。 ○ 本時の学習内容を授業前に確かめる。 ○ 家庭学習をするように言われた内容は必ずする。 ○ 教科書を事前に必ず読む習慣をつける。	○ 指示されたものを準備する。	○ 提出物の意義(必要性)を認識する。 ○ 係りは点検活動をきちんとする。	○ 指示されたものを準備する。 ○ 本時の学習内容を理解する。	○ 活動の内容を理解する。	○ 行事についての理解を深め、課題意識をもつ。
相手の話によく耳をかたむける。	○ 話し手に注目し、目と耳で聞く。 ○ 揚げ足をとったり、ひやかしたりしない。 ○ 自分の考えと比較しながら聞く。		○ 相手の立場を考えたが話を聞く。→		○ 必要な事項はノートをとりながら話を聞く。	○ 活動内容や方法の指示をきちんと聞く。→
	○ はっきりとした返事をする。 ○ 自分の考えをはっきりと話す。 ○ 自分の考えを発表するときは、必ず理由をつけて言う。					→
		○ 自分の考えを無理強いしないようにする。	○ みんなの発言をみんなで作え、真剣に話し合うようにする。	○ 自分の考えを要領よく、みんなにわかるように話す。→		○ みんなの発言をみんなで作え、真剣に話し合うようにする。